

その土器は縄文人と旅をした

壺形土器

[縄文時代晩期
幣舞遺跡]



注口土器

[縄文時代後期
風張1遺跡]



注口土器

[縄文時代晩期
柏原5遺跡]



是川縄文館・弘前大学共同研究展示

行きかう 土器とヒト

令和4年度 是川縄文館特別展

2022 7.16 土 → 9.4 日

CULTURAL DYNAMICS

INTERREGIONAL EXCHANGE ON THE BASIS OF CHEMICAL COMPOSITIONS OF GLASS SHARDS IN THE CLAY MATRIX.

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

〒031-0023 八戸市大字是川字横山1 TEL: 0178-38-9511 FAX: 0178-96-5392

HP: <https://www.korekawa-jomon.jp>



その土器は縄文人と旅をした

是川縄文館・弘前大学共同研究展示



行きかう 土器とヒト

令和4年度 是川縄文館特別展

CULTURAL DYNAMICS

2022 7.16(土) → 9.4(日)

是川縄文館と弘前大学は、平成30年度から「火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明」をテーマとした共同研究を進めてきました。

火山列島である我が国から出土する縄文土器には、火山ガラスが豊富に含まれています。この火山ガラスは、噴出源の火山によって成分が異なり、同じ火山でも噴火時期によって産状に違いがみられます。こうした特徴を活かし、是川縄文館と弘前大学では、土器の製作地域の特定や、土器の搬入・搬出、模倣製作などの実態を明らかにするため、4年間にわたり土器の火山ガラス分析を実施しました。

本展覧会では、これまでの共同研究成果をもとに、八戸地域における縄文時代から平安時代の土器からみた文化の移り変わりや地域間交流について紹介します。

関連イベント

特別展ギャラリートーク

学芸員による展示解説

[日時] 会期中毎週土曜日 午後2時～
※8月6日(土)は午前10時～

[会場] 是川縄文館 2階 企画展示室

申込不要

特別展をご観覧の方が参加できます。

特別展考古学講座

[演題] 「行きかう土器と縄文人」

[講師] 関根 達人氏

(弘前大学大学院人文社会科学部研究科 教授)

[日時] 8月6日(土) 午後2時～午後4時

[会場] 是川縄文館 1階 体験交流室

要申込

[定員] 50名

定員に達し次第、
受付を終了します。



深鉢形土器

牛ヶ沢[4]遺跡
[縄文時代早期]
是川縄文館蔵

津軽→八戸?



深鉢形土器

猫又[2]遺跡
[縄文時代中期]
三沢市教育委員会蔵

津軽→小川原湖



深鉢形土器

猫又[2]遺跡
[縄文時代後期]
三沢市教育委員会蔵

関東→三沢?



磨石

水木沢遺跡
[縄文時代後期]
むつ市教育委員会蔵

道央→下北半島



土師器坏

田面木遺跡
[奈良時代]
是川縄文館蔵

関東風八戸産?



土師器甕

田面木遺跡
[平安時代]
是川縄文館蔵

出羽風八戸産?

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

〒031-0023 八戸市大字は川字横山1 / TEL: 0178-38-9511 FAX: 0178-96-5392

[開館時間] 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) **休館日/8月22日(月)**

[観覧料] 一般300円/大・高校生150円/中・小学生50円(団体料金有) ※8月21日(日)は観覧料無料です。

[交通] JR八戸駅東口 南部バス・是川縄文館ゆき、約20分(土・日・祝) / 自動車: 八戸ICから10分

[後援] (株)東奥日報社、(株)デーリー東北新聞社、青森放送(株)、(株)青森テレビ、
(株)八戸テレビ放送、青森朝日放送(株)、(株)ピーエフエム

[共同研究機関]

弘前大学大学院人文社会科学部研究科 文化財論研究室(代表 関根 達人 教授)
弘前大学大学院理工学研究科(兼 正敏 名誉教授・近藤 美佐 紀氏)

[協力] 釧路市立博物館、苫小牧市美術博物館、北斗市郷土博物館、上ノ国町教育委員会、青森県立郷土館、おいらせ町教育委員会、五所川原市教育委員会、むつ市教育委員会、
三沢市教育委員会、八戸市博物館、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、九戸村教育委員会



HP: <https://www.korekawa-jomon.jp>